

とよさか通信

令和8年度 学校だより
令和8年7月13日 No.13
文責 成田 敦子



本に親しみ、 読書を通して成長を！！

豊坂小学校では、朝の時間、週1回の読書タイムを設けています。子どもたちが、自分で読書したり、読み聞かせを通して本に親しんだりしています。6年生が1年生に向けて絵本の選書を行い、読み聞かせをする心が温まる活動も行われています。子どもたちが本の世界に入り込む表情が本当にすてきです。

9日（木）には、3年1組で、国語科の授業公開が行われました。「ワニおじいさんのたから物」を読んで、そのあらすじをまとめる学習をしました。物語にとって大切な文や言葉はどれかを考え、そう考える理由を友達に一生懸命伝える姿が見られました。

今後はその学習を生かして、自分のおすすめの本のあらすじをまとめて紹介する学習に取り組んでいきます。すてきな紹介文ができることを楽しみにしています。



3年1組「読みたくなるしょうかいカードを作ろう」の授業より

また、夏休みまであと1週間あまりとなり、学級みんなで図書室へ本を借りに行く様子も見られます。おうちの方でも、ぜひたくさん本と出合えるような環境をつくっていただけるとありがたく思います。



★ 読書はなぜ必要か 「読書をする子は〇〇がすごい」（榎本博明著）より

- ・読解力は、学業成績に影響するのみならず、日常の人間関係にも大いに影響する
- ・読書によって他者の視点に触れ、他者の立場やものの見方・感じ方に想像力を働かせることができる
- ・読書によって、知らない世界が開け、知的好奇心が刺激される
- ・読書には、語彙力や読解力のような認知能力を高める効果＋根気強さや共感性といった非認知能力を培うという効果もある